



2022年度 年主題〈つながって～今、わたしを生きる～〉

0・1・2歳児 1月主題 「いっしょに」
 月のねがい
 ◎皆が神さまに守られ、愛されていることを知り、一緒に喜ぶ。◎保育者や友だちと一緒にいることを喜ぶ。
 ◎外気に触れながら、冬の自然の中で身体を動かす。
 ◎自分でやってみようとするが増え、色々なことを試してみる。

3・4・5歳児 1月主題 「つたえあう」
 月のねがい
 ◎クリスマスにお生まれになったイエスさまのお話を聞く。
 ◎一人ひとりが、遊びの中で創造すること、試行錯誤することを深める。
 ◎霜柱、氷、雪などの冬の自然の不思議を感じ、触れながら遊ぶ。
 ◎伝え合う中で、一人ではできないことや思いつかないことに出会い、遊びや生活を広げる。



おしゃべりで思いの共有を!

暖かかった年末年始でしたが、皆さんはいかがお過ごしでしたでしょうか。
 いよいよ3学期がスタートです!!最後の大きな行事や進級にむけての準備をする学期。保護者の方々と、子どもたちの成長を一緒に喜び合いたいと思っています。
 2学期にあったクリスマス会では、3歳以上児と0～2歳児でサンタさんに手紙を書きました。「サンタさんに、なんて書こうか?」と、2歳児クラスで聞いてみると「ありがとう!!」とY君。「そうだね、サンタさん皆にプレゼント持って来てくれるもんね」とほっこりさせてくれる手紙になりました。また、2学期の終園式では、学園長先生から「何で、おじいちゃん、おばあちゃん達は皆にお年玉をくれるのかな?」の問いかけがありました。「お仕事頑張ってるから!!」「なかなか会えないから!!」「家族だから!!」「大好きだから!!」との答えが次々に出てきました。確かに!!!。子どもは遊ぶのが仕事!遠くに住んでいると毎日会えない、家族、大好き!子どもたちの回答を聞きながら、なるほど～確かに～と納得でした(笑)
 冬休みが明け、子どもたちは、休み中の出来事をたくさん話してくれます。初詣、いとこと遊んだこと、みんなでご飯を食べたこと etc。1人が話したと、右からも左からも…。保育者の耳が足りないくらい。そして、いとこの名前を覚えるのに必死です(笑)。そこが一段落すると、友だち同士で話に花を咲かせて楽しんでいます。誰かに伝えたい、楽しかった気持ちを共有したい、そんな思いがいっぱい伝わってくる嬉しい時間でした♥。子どもたちの話には、いつも驚かされ、楽しませてもらっています♪
 日常の何気ない子どもたちとの会話の中に、素敵な言葉を見つけ癒やされています。大人や友だち同士のやりとりが楽しい!と思える日々を過ごしながら、子どもたちの一つ一つの成長に寄り添っていきたいと思います。本年度どうぞよろしくお願いたします。
 主任 伊豆元

今月の聖句「あなたの若い日に、あなたの創造者を覚えよ。」 伝道者の書 12:1

主の年2023年、あけましておめでとうございます。園児や保護者、園の先生方にとりまして迎えたこの年が祝福に満ちた日々であるように、切に願い祈ります。
 子どもたちは、大人が思っている以上に秘めた能力を持っているものです。乳幼児の心理や行動、脳の発達について科学的に解明する学問を「赤ちゃん学」と言いますが、近年の研究で、驚くほど多くの事実がわかっています。例えば、世界中どの地域の赤ちゃんを調べても、生後5・6カ月以前には、LとRの発音をきちんと区別して聞き取ることができます。ところが日本語圏など、LとRを区別する必要がない地域で暮らす赤ちゃんは、成長するにつれ、こうした区別ができなくなっていきます。LとRを区別するのは余分な機能だと判断され、能力の「刈り込み」が行われるからです。顔の認識についても同様で、私たちは通常、人の顔の区別はできますが、サル顔の区別するのは難しいものです。しかし赤ちゃんの場合、人の顔だけでなくサル顔の区別も可能なのだそうです。
 この乳幼児・幼少期に、両親や周りの人々から沢山の愛情を受けて育つことが大切です。ジョン・ドレッシャーという人は、「親から十分に愛されて育った子供は、「愛する」とはどういうものか説明されなくても理解している」と言っています。そのような情緒豊かな人は、人間の背後におられ、生きて働いている神さまの愛も見出せるようになるでしょう。聖書は「あなたの若い日に、あなたの創造者を覚えよ」と語ります。今年も子ども園で子どもたちが積み重ねる沢山の経験は、その思い出と共に子どもたちの生きる力となっていきます。子どもたちの豊かな成長を見守っていきましょう。 協力牧師 池田基宣

2・3号認定児 新規入園申込受付期間 1/16(月)～27(金)
 定員に限りがあります。お早めに市福祉事務所へお申込み下さい! 必要書類は園にもございます。



1月の行事予定

10日(火)	始園式(1号午前保育)
14日(土)	父母の会役員会
21日(土)	熊毛地区教職員研修会
24日(火)	おゆうぎ会予行練習・弁当日

2月の行事予定

4日(土)	おゆうぎ会
6日(月)	振替休日(1号)
7日(火)	誕生会(2才以上2月生)
10日(金)	卒園記念写真撮影
15日(水)	参観日(5才児クラス)
16日(木)	参観日(4才児クラス)
17日(金)	参観日(3才児クラス)
21日(火)	お別れ遠足



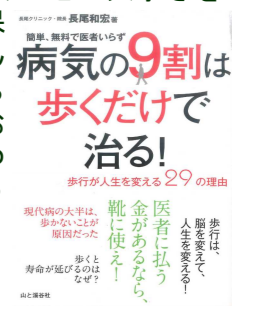
新年明けましておめでとうございます。皆様ご健勝の内に、二〇二三年(令和五年)をお迎えにいられたこと存じます。本年も、皆様にとつて希望に満ちた素晴らしい年でありませう心からお祈りいたします。
 早いもので令和も五年目を迎えました。年末年始の移動等もあり、コロナ感染者も増えつつあるようです。三学期も大切な行事や活動が待っています。願わくは多くの方々と共に楽しむことができませう願っております。
 来週の土曜日は、恒例の熊毛地区私立幼稚園教師研修会です。昨年に引き続き、『子どもの主体性がいける保育者のかかわり』をテーマに、各園の実践例を出し合い研鑽を深めます。本園は県大会の発表園ではありませんが、自園の保育を顧み、保育の質を上げるためにも真摯に取り組みたいです。子どもの主体性や自主性を考えるときに、自分自身のことを考えてみるのも面白いものです。振り返ってみると、私自身はそれをなすに主体的に行動し、育ってきたのではないかと感じています。遊びや趣味、習い事、受験、進学、就職、転職、結婚……。ほとんどの事柄を自分で考え、逡巡しながらも自分で決断し、親にも伝えることができました。何故それが可能だったのか。それは、「自由な時間」が充分与えられていたことだと思っております。私たちの世代は、放課後に暗くなるまで、自分たちがやりたいことができました。あまり親に忖度せず、したいことの思いを伝えられました。ぼんやりする時間も含めて、たくさん自由な時間が確保されていたのだと思います。幼児期、学童期と、中学以降は部活や宿題でそこそこ忙しくなっていくものの、それなりに自由な時間はあったような気がしますが、その中で主体的に成功や失敗を経験し、思考を重ねることが主体性を育ててくれたのではないのでしょうか。今思えば、スマホやネットがなくとも不便を感じず、とても幸せなことだと思えるのです。
 乳幼児期。特に乳児期のことも私たちは、やりたい放題の主体性の塊です。元々生まれながらにして主体的な生き物であるのに、何故その後の生育の中で主体性が乏しい子どもが現れてくるのでしょうか。その一つの要因に「過干渉」が考えられます。あらゆることを親や保育者が決定し過ぎたり誘導していくと、「嫌だ」と言わない。言動が受け身。感情表現が乏しい。子どもに育つてしまえば、自己実現力が弱く、判断待ちの人間になってしまいかも、たくれませぬ。それ故、幼児期に自分の意思で遊び込むことは、たくれませぬの喜怒哀楽の経験を重ね、自信となり、主体的に生きるための基礎となるでしょう。日常の遊びが子ども主体で展開していくためには、園内の環境構成(シベンとモノとヒト)が何より大切で、子どもたちを引きつけ、安全に仲間と一緒に挑戦していく『遊ばずにはいられない魅力的な空間』を整えていければと願っています。
 三学期は、年長児にとつても園生活最後の学期です。幼児教育の仕上げの時でもあります。それぞれの子どもたちにとつて、思い出深い魅力いっぱいの日々にするよう努めてまいります。本年も宜しくお願いいたします。
 学園長

入学前に親子で散歩を!

年長児は、運動会を過ぎた頃ぐらいから、急に小学校を意識し始めます。就学前健康診断や教育相談が行われたり、ランドセルの準備に入ったりすることで、保護者も子どもたちも一気に気持ちが小学校に向き始めるようです。
 先日、幼保小の連絡会で小学校の校長先生が話しておられたことは、「入学してきた1年生で一番気になることは、登下校で疲れているようにみえる。歩き慣れていないのではないかと」言われました。確かに車社会の現在では、車に乗せられて移動することが多く、歩き続ける経験も少ないのが現実です。一年生になった途端に、学校までの道を自分で歩いて行かなければならないのですから、子どもたちにとっては一気にハードルが上がることとなります。
 11月の月報に散歩の勧めを書かせてもらいましたが、幼児期に散歩の生活習慣があると無いのでは、小学校に上がったからの生活に大いに影響していきます。時間があるとき家から学校までの道のりを親子で散歩をし、周りにある風景を楽しんだり

自由な時間を担保する保育

交通マナーの確認ができる、入学してからも安心して登校出来ると思います。
 また、コロナ禍の生活の中いろいろな制限もあって、ともすると家の中に閉じこもりがちになります。その中で運動が不足し、子どもたちの成長にも取り返しのつかない影響が出てくるのではないかと心配されている昨今です。子どもの健やかな成長を願う周りの大人が、真剣に考え生活を整えていく必要があるのではないのでしょうか。
 さて、「病気の9割は歩くだけで治る!」という本を読みました。継続的に歩くことの大事さを改めて考えさせられました。保護者の皆さんにも、子どもさんと一緒に、風景を味わいながらゆったりと散歩されることをお勧めします。心身共に元気はつらつとした生活を送られるよう願っております。
 図師 愛



きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん **1月園だより** きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん

きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん

きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん

きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん